

Let's 和の音♪

伝統文化シリーズ 第三弾

落語と邦楽

落語や寄席が

もつと楽しく聞こえてくる!!

邦楽と密接なつながりのある日本の伝統文化をテーマに、三年シリーズでお届けしている

「Let's 和の音」伝統文化シリーズ。

第三弾の「邦楽と落語」では、邦楽の視点から、落語や寄席の魅力に迫ります。

江戸時代から受け継がれる「日本の粹」と芸能を、どうぞお楽しみください!



番組

「落語を楽しむ!」

よせばやし
三味線や太鼓による“寄席囃子”を入口に、江戸落語と上方落語の違い、上方落語における「はめもの」、寄席に関する事など、トークや実演を交えて邦楽的視点から落語や寄席の魅力に迫っていきます。そして、落語家・桂吉坊による上方落語ならではの「はめもの」入り落語もお聴きいただけます。また、宮崎在住の子ども落語家にも登場いただく予定です。 ※はめもの入り落語：三味線や鳴物が入る落語のこと。

【出演】桂吉坊(落語家)、浅野美希(上方寄席囃子三味線奏者)、月亭遊真(落語家)、桂二豆(落語家)
織田麻有佐(聞き手・企画監修)

「邦楽落語」

古典落語を題材に邦楽化した「邦楽落語」から、杵屋邦寿と竹澤悦子がそれぞれ1曲ずつ弾き語ります。

【演目(予定)】杵屋邦寿:『松山鏡』、竹澤悦子:『がまの油』

※邦楽落語：長唄三味線方から邦楽界初の作曲専門家に転身した杵屋正邦(1914年-1996年)が、古典落語を題材に邦楽化したもの。落語の囃子を音楽の流れに乗せやすいように縮小し、正邦が本名・吉川博久の名で作詞も手掛けた。

【出演】杵屋邦寿(長唄三味線方)、竹澤悦子(地歌箏曲家)

2023

8/26(土)

13:30開場/14:00開演
新富町文化会館
イベントホール

料金

〈全席自由〉
前売価格

一般 2,000円(くれっしえんど倶楽部会員1,800円)

U25割 1,000円 ※鑑賞時25歳以下

※当日は一般価格のみ500円UP ※会員価格の適用は、メディキット県民文化センターでの購入時のみとなります。



Kichibou Katsura

桂 吉坊
落語家

1981年兵庫県西宮市生まれ。99年桂吉朝に入門。同年「岡町落語ランド」において「東の旅～煮売屋」で初舞台。2000年4月から桂米朝のもとで内弟子修業。03年4月内弟子を卒業。以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。07年G2プロデュースの舞台「地獄八景浮世百景」で役者としてもデビュー。08年公開の映画「能登の花ヨメ」では謎の旅人として映画デビュー。11年咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。23年令和4年度大阪文化祭奨励賞受賞。



Kunitoshi Kineya

杵屋 邦寿
長唄三味線方

1957年東京都新宿区生まれ。75年18歳の時に長唄と出会い、三味線の魅力に惹かれプロとなる道を志す。劇団文化座、花組芝居、劇団前進座ほか、若手劇団などの芝居音楽の作曲・プラン・演奏を多数手がける。松竹歌舞伎、平成中村座、劇団新派、劇団前進座、藤山直美公演、坂東玉三郎特別公演などで舞台師(演奏責任者)として活動も。2009年より各地で「一人ライブ」を開催、独自の世界を展開中。長唄協会会員。



Miki Asano

浅野 美希
上方寄席囃子
三味線奏者

京都府福知山市出身。京都市内で看護師として働くうち、幼少の頃には触れることがなかった「能狂言」「歌舞伎」「文楽」「落語」に興味を持ち、大蔵流狂言を習い、三味線の稽古に通うようになる。知人の勧めで寄席囃子三味線奏者への転向を決意、2003年かつら枝代に弟子入り、活動を始める。2013年より上方唄・地歌を松浪千壽に師事、2015年松浪流師範 松浪千寿となる。現在、落語会や寄席などで寄席の三味線方として、また松浪流の演奏活動も行う。



Etsuko Takezawa

竹澤 悦子
地歌箏曲家

石川県出身、東京藝術大学音楽学部卒業。1987年沢井合奏団アジア、ヨーロッパ5カ国ツアーでデビュー。1993年結成のKOTO VORTEXで注目を集め、2009年クロノスカルテット招聘によりNYカーネギーホール公演。ソロでは古典と同時にジャンルを超えて活動を展開。2013年ソロアルバム『へちま』を発表。初代高砂浦五郎の人生を地歌三味線で弾き語る「浪曲地歌・相撲もの」創作プロジェクトを作曲家4人と展開中。地歌箏曲ラボ主宰。沢井箏曲院教授。



Yuuma Tsukitei

月亭 遊真
落語家

大阪市出身。2015年3月15日月亭遊方入門。天満天神繁昌亭や新開地喜楽館などに出演。師匠の言葉「落語は娯楽」をモットーにお客さんに楽しんで貰える高座を心掛ける。寄席囃子の太鼓や笛(能管、篠笛)も手掛ける。趣味は食べ歩き、日本酒。



Nimame Katsura

桂 二豆
落語家

2017年5月18日、桂米二に入門。「二豆」を名乗る。2020年5月18日、3年間の修業を終えて年季明け。平成生まれながら昭和の香りを纏う、令和の噺家。現在、京阪神を中心に活動中。



Mayusa Oda

織田 麻有佐
企画監修/聞き手

NHK邦楽技能者育成会28期卒業。1990年邦楽ジャーナル入社。2004年～07年津軽三味線と太鼓の月刊誌「パチ2」編集長。日本音楽を紹介するコンサートなどの企画制作も手がける。共著に「まるごと三味線の本」(青弓社)他。

会場のご案内

新富町文化会館 〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上富田6367-1 イベントホール

交通のご案内 JR日豊本線 日向新富駅から徒歩約5分

託児サービスについて【対象:生後6ヶ月～12歳まで】

本公演では託児サービスがご利用いただけます(料金:お子様おひとりにつき1,000円(税込))。申し込みは、公演日の1週間前までとなります。なお、キャンセルされる場合は公演日の3日前までにご連絡ください。
申込先 NPO法人みやざき子ども文化センター TEL080-4694-8686 (月～金10:00～18:00/土日祝日休み)

ワークショップ「かじってみよう！」

よせばやし 寄席囃子に挑戦! 落語家の月亭遊真、桂二豆、上方寄席三味線奏者の浅野美希を講師に迎えた、寄席囃子体験ワークショップを開催します。ワークショップの最後には、受講生と講師の合奏による出囃子で、講師の落語家が落語を一席口演します。

日 時/8月27日(日) 13:30～15:30

対 象/小学校4年生以上

募集人数/三味線コース(講師:浅野美希):20名
大太鼓&締め太鼓&当たり鉦コース:各5名
(講師:月亭遊真、桂二豆)

参加料/おひとり1,000円

応募方法/下の申込み欄に必要事項を記入のうえ、郵送またはFAXにて下記申込み先までお送りください。宮崎県立芸術劇場のホームページからもお申し込みいただけます。

応募締切/8月4日(金) ※当日消印有効 ※申込多数の場合は抽選となります。

お申込み先/公益財団法人宮崎県立芸術劇場 企画広報課「Let's和の音」係
〒880-8557 宮崎市船塚3丁目210番地 FAX:0985-20-6670



「かじってみよう!寄席囃子体験ワークショップ」申込書

※ご応募いただいた個人情報は本事業にのみ使用します。

コース

●ご希望のコース、楽器に☑を付けてください。

三味線コース 大太鼓&締め太鼓&当たり鉦コース

大太鼓
締め太鼓
当たり鉦

ふりがな お名前	学年	小学・中学・高校 年生	性別	性自認を含む
現住所	●保護者の承認(高校生以下の場合) 申込みを承認します。			
TEL	Eメール	保護者氏名:	続柄:	

Let's和の音

伝統文化シリーズ

落語邦楽

HOGAKU to RAKUGO

チケット料金(全席自由・前売価格)

一般 2,000円

(くれっしえんど倶楽部会員1,800円)

U25割 1,000円 ※鑑賞時25歳以下

チケット発売

くれっしえんど倶楽部会員:6月4日(日)

一般:6月11日(日)

※未就学児の入場はご遠慮ください。※会員価格の適用は、メディキット県民文化センターでの購入時のみとなります。新富町文化会館では、会員価格での購入はできませんので御了承ください。※U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合があります。※当日券が出る場合は一般価格のみ500円増し。販売は開演の1時間前から会場前に設置する受付で行います。※車椅子席・介助席は、メディキット県民文化センターのみの取り扱いとなります。

チケット取扱

◎メディキット県民文化センター
チケットセンター

TEL 0985-28-7766

[窓口・電話受付] 10:00～18:30/月曜休館

※月曜が祝日の場合は翌平日休館

WEB 劇場HPで24時間予約・購入できます。

◎新富町文化会館 TEL.0983-33-6205

[窓口・電話受付] 9:00～17:30/月曜休館

※月曜が祝日の場合は翌平日休館

◎チケットぴあ (webサイトのみ取り扱い)



WORKSHOP